



◆国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略	
基本目標	横断的な目標
<p>1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする</p> <p>●地域の特性に応じた、生産性が高く、稼ぐ地域の実現</p> <p>（地域資源・産業を活かした地域の競争力強化 専門人材の確保・育成）</p> <p>●安心して働ける環境の実現</p> <p>（働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保 （第1期：地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする））</p>	<p>1 ●多様な人材の活躍を推進する</p> <p>2 ●新しい時代の流れを力にする</p> <p>3 ●地方創生におけるSocietyの実現</p> <p>4 ●0の推進</p> <p>5 ●持続可能なまちづくり</p>
<p>2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる</p> <p>●地方への移住・定着の推進</p> <p>（地方移住の推進 若者の修学・就業による地方への定着の推進）</p> <p>●地方とのつながりの構築</p> <p>（関係人口の創出・拡大 地方への資金の流れの創出・拡大 （第1期：地方への新しいひとの流れをつくる））</p>	
<p>3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる</p> <p>●結婚・出産・子育てしやすい環境の整備</p> <p>（結婚・出産・子育ての支援 仕事と子育ての両立 地域の実情に応じた取組の推進 （第1期：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる））</p>	
<p>4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</p> <p>●活力を生み、安心な生活を実現する環境の確保</p> <p>（質の高い暮らしのためのまちの機能の充実 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成 安心して暮らすことができるまちづくり （第1期：時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する））</p>	

◆第6次忠岡町総合計画

総合計画の「施策展開の方向（資料2）」より選択

◆第2期忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略（重点プロジェクト）		
重点プロジェクト	方針 （施策展開の理念）	具体的施策 （選択する「施策展開の方向」）
重点プロジェクト1 小さなまちだからこそできるつなげる未来応援プロジェクト ～結婚・出産・子育てに対する支援が充実した、子育て家庭に選ばれるまち～	安心して子どもを産み育てられる環境づくり	子どもと親の健康づくりの推進
		地域における子育て支援の推進
	子育て環境・交流活動の推進	幼児教育の充実
		放課後等における児童の居場所づくり
1人ひとりの個性を光り輝かせる教育の充実	子どもたちを犯罪から守る取組の推進	
	健やかな心と体づくりの推進	
重点プロジェクト2 小さなまちでの職住近接プロジェクト ～企業・事業所と共に歩み、あらゆるひとの可能性を最大化させるまち～	就労支援の拡充	雇用・就労支援の充実
		障がいのある人の活躍推進
	地元企業の発展と住民の雇用促進	経営基盤の強化
		創業の推進
重点プロジェクト3 小さなまちでの魅力発掘プロジェクト ～魅力発信により「うごき」を生み、ひととつながるまち～	シティプロモーションの推進	職住近接支援
		多文化共生社会の形成
	まちへの愛着・誇りの醸成	地域の魅力の向上
		まちのPR
重点プロジェクト4 小さなまちだからこそ取り組む健康創造プロジェクト ～みんなでつくる健康で安全・安心に暮らせるまち～	健康福祉の充実	健康寿命の延伸
		安全・安心な地域づくりの推進
	安全・安心な地域づくりの推進	地域防災の推進
		交通安全対策の推進
地域共創社会の実現	障がいのある人の活躍推進	地域福祉活動の推進
		コミュニティ活動の支援
	地域共創社会の実現	生涯学習活動の支援

【各重点プロジェクトに係る「施策展開の方向」のコンセプトなど】

- ◆重点プロジェクト1
国の基本目標3と大阪府の基本目標1に基づくもの。少子化や核家族化による人間関係の希薄化は親の子育て環境や子どもたちの育ちに影響を及ぼす可能性があるため、地域での子育て支援が必要。
→親の育児を単に肩代わりするのではなく、各種支援等を通じ様々な形で社会とのかかわりが持て、親の子育てに対するストレスや不安を解消でき、子どもたちのより良い育ちを実現できるような、地域全体で子育てを支えるような施策を選択。
- ◆重点プロジェクト2
国の基本目標1及び大阪府の基本目標1・5に基づくもの。人口減少や突発的事象（新型コロナウイルス感染症など）の影響による町内事業所の活動展開の縮小を防ぎ、住民の安定した雇用維持・拡大に寄与する支援が必要。
→住民の生活や雇用を支えてきた町内事業所の経営基盤の強化、起業の促進や新たな雇用の創出、誰しもの可能性を最大化させられるよう「ひと」に焦点を当てたものを中心に、職住一体・職住近接を促進する施策を選択。
- ◆重点プロジェクト3
国の基本目標2及び大阪府の基本目標6に基づくもの。人口減少社会において地域に定住しないもの多様なかたちで地域に関わる町外の方（関係人口）へのアプローチが必要。
→町の魅力を開拓・広域発信を行うことで町内外の双方にとって魅力的なまちになることを目指す一方で、単なる魅力づくりに留まらず、子どもから高齢者までまちへの愛着や誇りを醸成できるような施策を選択。
- ◆重点プロジェクト4
国の基本目標4及び大阪府の基本目標3・4に基づくもの。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、安全な生活環境と住民同士の相互理解・相互扶助が必要。
→安全・安心なまちづくり、住民の自主的な健康づくりや地域活動の推進に際し、行政よりも地域・住民に重きを置いており、かつ誰もが住み慣れた地域で「健康」でいきいきと暮らし続けられるような施策を選択。

◆第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略	
基本目標	
I	<p>若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現</p> <p>1 若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する</p> <p>（若者の安定就職支援、職場定着支援 女性の活躍推進 結婚・妊娠・出産・子育て環境の充実）</p> <p>2 次代の「大阪」を担う人をつくる</p> <p>（次代を担う人づくり 子どもをめぐる課題への対応）</p>
II	<p>人口減少・超高齢化社会でも持続可能な地域づくり</p> <p>3 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり</p> <p>（健康寿命の延伸 高齢者等がいきいきと暮らせるまちづくり あらゆる人が活躍できる「全員参画社会」の実現）</p> <p>4 安全・安心な地域をつくる</p> <p>（安全・安心の確保 都市基盤の再構築 環境にやさしい都市の実現）</p>
III	<p>東西二極の一極としての社会経済構造の構築</p> <p>5 都市としての経済機能を強化する</p> <p>（産業の創出・振興 企業立地の促進 活力ある農林水産業の実現 多様な担い手との協働 インフラの充実・強化）</p> <p>6 定住魅力・都市魅力を強化する</p> <p>（定住魅力の強化 都市魅力の創出・発信）</p>

※大阪府の第1期の基本目標は第2期と同様。

【参考：第1期忠岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略について】

- ・計画期間は平成27年～令和2年度。（平成31年度に計画期間を1年延長。）
- ・基本目標は以下の4つ。
 1. 安心して子どもを産み育てられるまち（結婚・出産・子育て）
 2. 住民みんながつながる安心のまち（地域づくり）
 3. 安定した雇用を育むまち（雇用）
 4. 訪れたいまち、住みたいまち（交流）